

# 吉野作造の遺品展示

## 大崎市文化財指定記念し

28日まで古川

大崎市の文化財に指定された吉野作造の遺品を紹介する記念展が、大崎市古川福沼の吉野作造記念館で開かれている。古川出身の政治学者、吉野の私生活まで垣間見ることが出来る遺品の数々が訪れる人の目を引いている。28日まで。

遺品類は吉野の長男、俊造氏やその妻、恆子さんなどから贈られたもので、54点。それら全てが昨年11月、市の文化財に指定された。記念展は、普段収蔵室に保管されている、それら遺品類を市民に知ってもらうおうと開催。孫文ら中国の政治家、思想家との交流を示す資料をはじめ、吉野が愛用した着物や旅行かばん、洋服を収納する箱形の籠(葛籠)つづら(一)、吉野宅の表札

などが並ぶ。気に入って使っていた急須や、母こづが手縫いしたちゃんちゃんこもある。同館の佐藤弘幸学芸員は「生活感あふれる品々を通して、吉野の人柄に触れてほしい」と話している。

展示時間は午前9時から午後5時。観覧無料だが一部常設展にも展示しており、両方見る場合は入館料がかかる。一般310円、高校生210円、小中学

生100円。問い合わせは同館へ。電話02229(23)7100。吉野の遺品などを展示している大崎市文化財指定記念展

